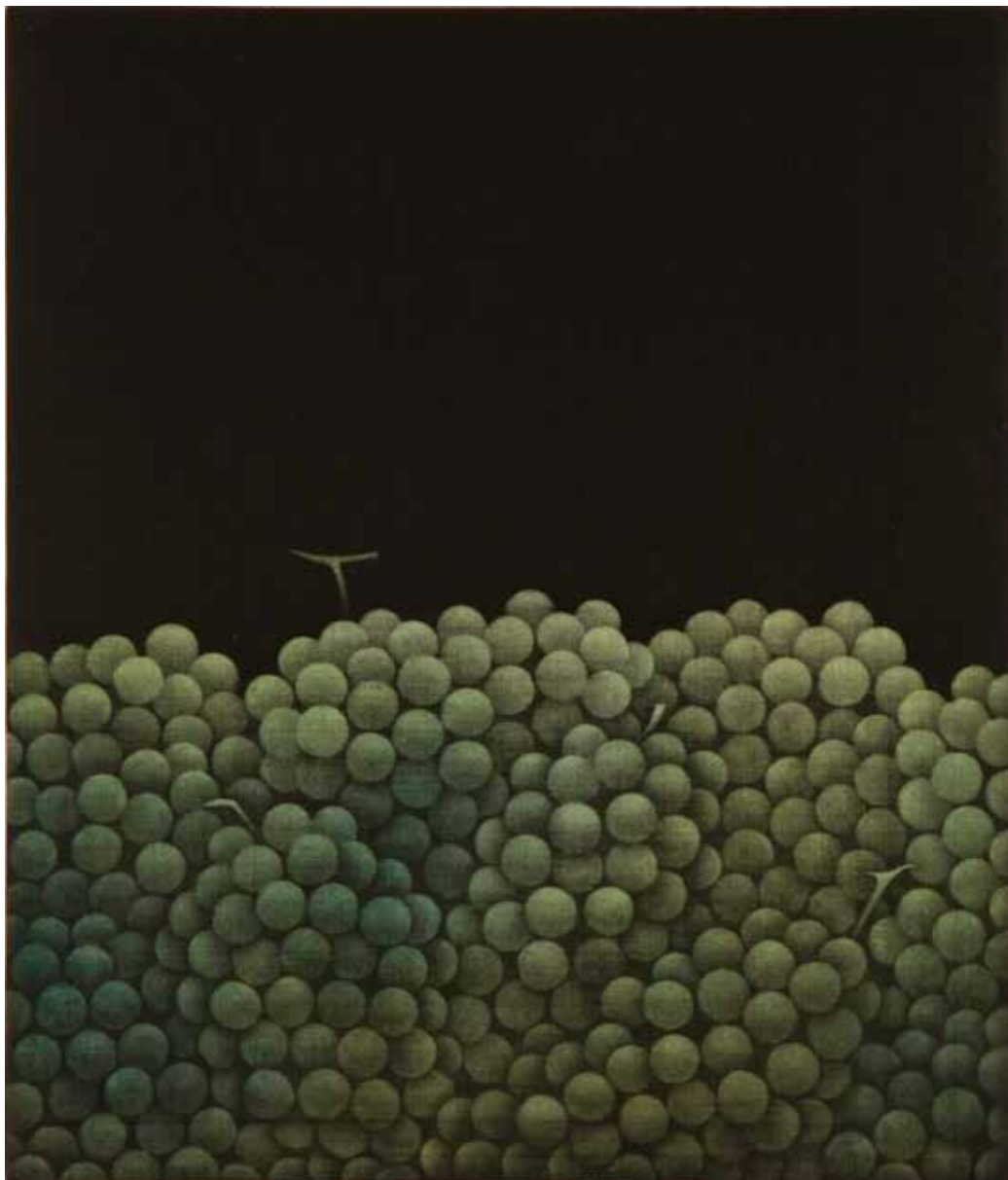




コレクション展 2020—夏

特集 浜口陽三

特別出品 アルフォンス・ミュシャ



1. 浜口陽三《暗い背景のぶどう》1961（昭和36）カラーメゾチント、紙 和歌山県立近代美術館蔵

2020年6月30日[火]—9月6日[日]

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、
イベント等の開催を見合わせる可能性があります。

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337

E-MAIL moma_w@future.ocn.ne.jp WEB <http://www.momaw.jp/>



コレクション 2020-夏

特集 浜口陽三 / 特別出品 アルフォンス・ミュシャ

2020年6月30日(火)～9月6日(日)

1963年に和歌山城内で開館した和歌山県立美術館を前身とする当館は、日本で5番目となる国公立の近代美術館として、1970年11月、県民文化会館の1階に開館しました。そこで23年あまり活動したのち1994年に、建築家の黒川紀章が設計した現在の建物へと移転し、展示収蔵環境を拡充させました。今年は開館50周年記念となる年を迎えますが、和歌山ゆかりの作家を中心とした展覧会と収集を継続し、現在はその範囲を国外にまで広げ、日本画、洋画、彫刻、版画など、総数1万点を超える作品を収蔵するに至っています。コレクション展では、所蔵品を通じて幅広い美術の表現に接していただけるよう、季節ごとに展示を替え、その紹介を続けています。「和歌山ゆかりの作家と近現代の美術」を主要なテーマに展示するほか、今回はカラー・メゾチントのパイオニアとして知られる浜口陽三（1909～2000）の作品を特集します。現在の和歌山県広川町に生まれた浜口陽三は、濱口梧陵の曾孫にあたります。5歳の年に千葉県銚子町に転居し、東京美術学校彫刻科に進みますが2年足らずで退学し1930年、渡欧。油絵や銅版画を制作します。しかし戦争のため1940年に帰国、終戦をベトナムで迎えました。その後1950年に銅版画制作を再開し、1953年再び渡仏。パリを拠点に単色のメゾチントを重ねて生み出す独自のカラー・メゾチント技法を完成させ、世界的に知られる存在となりました。展示ではその初期作品からカラー・メゾチントへと至る変遷を探ります。また浜口陽三が制作を続けたパリで、19世紀末のアール・ヌーヴォーを代表する画家となったアルフォンス・ミュシャ（1860～1939）の作品15点を株式会社インテックのご協力によりご紹介いたします。さらに滋賀県立近代美術館が改修を行うにあたり、その休館期間中、同館が誇るコレクションの一部を2017年度より今年度まで当館で公開しています。ふたつの近代美術館のコレクションにより、近現代美術の面白さに触れて頂くまたとない機会となっています。ぜひお楽しみください。

開催概要

- 【主催】 和歌山県立近代美術館
- 【協力】 株式会社インテック
- 【会場】 和歌山県立近代美術館 1階展示室
- 【会期】 2020年6月30日(火)～9月6日(日)
- 【開館時間】 9時30分～17時(入場は16時30分まで)
- 【休館日】 月曜日(ただし、祝日の場合は翌日休館)
- 【観覧料】 一般350(270)円、大学生240(180)円
()内は20名以上の団体料金、高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

- *第4土曜日(7月25日、8月22日)は「紀陽文化財団の日」大学生無料
- *第1日曜日(7月5日、8月2日、9月6日)は観覧料無料



3. 浜口陽三《メロンと筆》1955(昭和30)
メゾチント、紙
和歌山県立近代美術館蔵



2. 浜口陽三《4つのさくらんぼ》1963(昭和38)
カラーメゾチント、紙 和歌山県立近代美術

関連事業

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催を見合わせる可能性があります。

- フロアレクチャー
(学芸員による展示解説)

【日時】7月12日(日)、8月9日(日)、9月6日(日) 14:00～15:00 展示室にて(要観覧券)



※文字のせ、トリミング等のご遠慮ください。

掲載用画像については広報担当にお問合せ下さい。

主な出品作品



4. 浜口陽三《女達》1953（昭和28）メソチント、紙
和歌山県立近代美術館蔵



5. 佐伯祐三《広告のある門》1925（大正14）油彩、キャンバス
和歌山県立近代美術館蔵



6. 下村観山《観音図》1911（明治44）頃 顔料、絹
滋賀県立近代美術館蔵



7. アルフONS・ミュシャ《四季》左から「春」「夏」「秋」「冬」1896 リトグラフ、紙 インテック蔵

【同時期開催】

企画展 なつやすみの美術館 10 —あまたの先日ひしめいて今日—

【会期】7月11日（土）～8月30日（日）

【会場】2階展示室

【和歌山県立博物館（当館となり）】

夏休み企画展「生誕200年記念 稲むらの火 濱口梧陵」

7月18日（土）～8月23日（日）

喜田村進と徳川頼貞—南葵音楽文庫をめぐるひとびと—

8月29日（土）～10月4日（日）

【和歌山県立図書館・文書館】

濱口梧陵生誕200年記念

県立図書館・文書館合同展示 「濱口梧陵と梧陵文庫」

7月18日（土）～12月27日（日）

*エントランスホールのパネル展示は、8月12日（水）まで

和歌山県立近代美術館

学芸担当：井上芳子 広報担当：和佐

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690（代表）

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>